

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



平成27年5月18日（月）～平成27年5月24日（日）〔第21週〕の感染症発生状況

第21週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 手足口病でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.42人と前週（6.33人）からほぼ横ばいですが、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は5.03人と前週（5.27人）からほぼ横ばいですが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 手足口病の定点当たり患者報告数は2.06人と前週（1.61人）からやや増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



例年より早く流行開始か！？～手足口病～

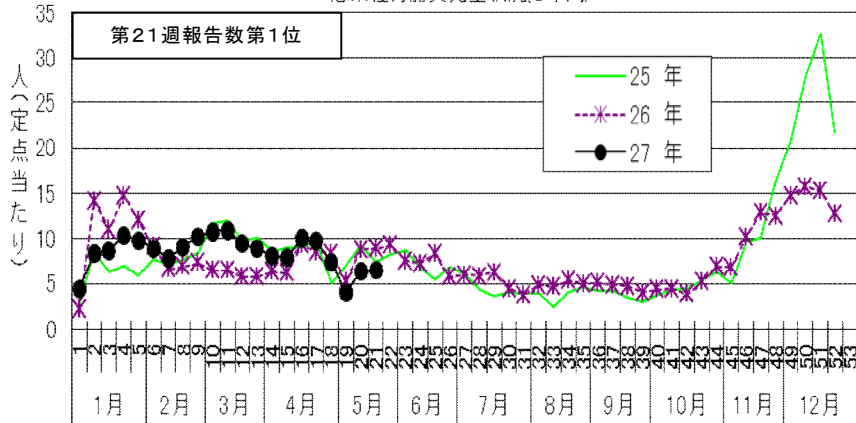
川崎市では、手足口病の患者報告数が、例年に比べ1か月程度早く増加し始めています。今年はすでに、4月に2件の手足口病患者の検体が健康安全研究所に搬入されていますが、いずれも通常よくみられるタイプのコクサッキーA16というウイルスが検出されました。

手足口病の原因となるウイルスは数種類あるため、2回以上罹患するお子さんもいます。「手洗い」や「便の取扱い」などには十分ご注意ください。

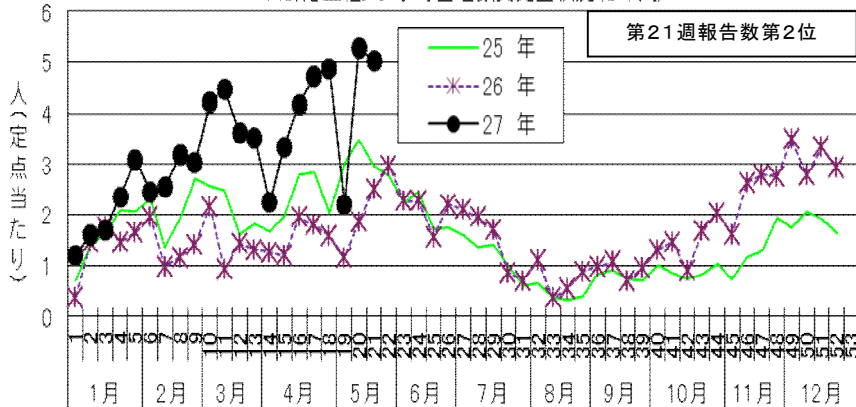


手足口病は、主に5歳未満のお子さんでの発症が多く、患者の便からも長期にわたりウイルスが排出されます。脳炎・髄膜炎を発症するなど重症化することもありますので、注意が必要です。

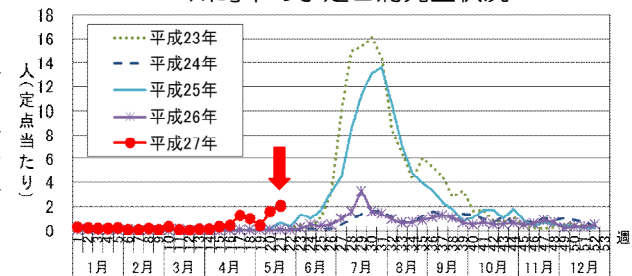
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



川崎市の手足口病発生状況



全国の手足口病発生状況

